

参加により期待できる変化

- 大学における学習支援の指針や方法について説明できるようになり、組織的な視点から改善や解決策について提案することができるようになります。
- 所属大学の学生の状況やニーズ、実施されている学習支援の特徴と課題を整理し、他部署と連携した学習支援を提案できるようになります。
- 所属大学で実施する学習支援を向上させるためのアクションプランを作成できるようになります。
- 学習支援コーディネーターのネットワークが広がります。

本研修会の到達目標

- (1) 学習支援とその意義を説明できる
- (2) 学習支援のさまざまな方法を説明できる
- (3) 学習支援における倫理的課題について説明できる
- (4) 組織的な学習支援に関するさまざまな課題解決の方法を提案できる
- (5) 学習支援に関わる多様な考え方や実践事例を尊重し、共に学び合う雰囲気貢献する

参加申し込み

お申込み

<https://www.jaedweb.org/dev1>

問合せ
メールアドレス

info@jaedweb.org

参加費

1人 20,000円

振込先

三井住友銀行 兵庫支店 普通 7758395 かんぽ生命設計研究所



<参加費内訳>

テキスト※/ 当日資料印刷・製本費 / 事前研修費用 / 当日研修費用
※清水栄子・中井俊樹編 (2022) 『大学の学習支援 Q&A』
(玉川大学出版部) を参加者に配付いたします。



日本高等教育開発協会 (JAED)

Web: <https://www.jaedweb.org> お問い合わせ先: info@jaedweb.org

第 1 回

学習支援コーディネーター 養成研修会

受講証
発行

～ 組織的に学習支援に取り組み改善するための方法を考える ～

大学の設定した教育目標の達成に向けて、個々の学生のニーズや課題に沿った組織的な学習支援に取り組み、その改善を図ることが求められています。本研修会では貴学における組織的な学習支援を担う学習支援コーディネーターの養成を目指します。

- 開催日程 2022年11月11日金曜日 10:00 から 17:15まで
2022年11月12日土曜日 10:00 から 17:15まで **定員 30名**
- 場 所 オンライン開催 (Zoom)
- 対象者 大学教職員

【主催】日本高等教育開発協会

【共催】株式会社学びと成長しくみデザイン研究所

事前課題があります。
詳しくは内面をご参照下さい。

研修会全日程を受講の方に受講証を発行します。

多様な学生を受け入れている大学では、学習者本位の教育の提供とともに、その質の保証が求められています。学生の学びを充実させるためには、正課教育だけでなく、正課外活動も視野に入れたきめ細やかな支援が必要とされています。そのためには、教育を担当する教員とともに職員も参画した組織的・戦略的な学習支援の重要性が高まっています。そこで、組織的な学習支援の企画・運営に携わる人材である学習支援コーディネーターの育成が必要とされています。

本研修会では、学習支援コーディネーターとして求められる学習支援に関する理論と実践を学び、所属大学での組織的な学習支援を推進するための課題解決や具体的なアクションプランの作成を行います。講義だけでなく、参加者同士の議論や講師とのメンタリングを通して学ぶことで理解を深めていきます。

学生のニーズに沿った支援方法の検討、協働体制の構築といった学習支援に関する課題の解決、学習支援の組織的な運営をお考えのみなさまのお申し込みをお待ちしております。

このような方が対象です

- 学習支援による教育効果を高めたいと考えている教職員
- 所属大学の学習支援を改善、向上させたいと考えている教職員
- 学習支援の組織的運営に携わる管理職

本研修会は Zoomを使用してオンラインで開催します。

以下の環境で参加できることをご確認の上でお申し込みください。

- ・カメラ・マイクが利用可能で、かつ高速なインターネットに接続された PC 等が用意できること。グループワークを行いますので、1人1台をご準備ください。
- ・発言等ができる静粛な環境でご参加ください。(内蔵マイクよりも雑音が入りにくいヘッドセットを推奨)

事前課題

テキスト『大学の学習支援Q&A』を踏まえ、以下の課題についてワークシートの指定の箇所に記載してください。

- 1) 所属大学で提供されている組織的な学習支援の名称と支援の概要について可能な限り調査し記載してください。
- 2) 学習支援の課題や改善したいことについて記載してください。

講師



中井俊樹
日本高等教育開発協会
会長
愛媛大学
教授



清水栄子
日本高等教育開発協会
正会員
追手門学院大学
准教授



竹中喜一
日本高等教育開発協会
正会員
愛媛大学
准教授



上月翔太
日本高等教育開発協会
正会員
愛媛大学
特任助教

プログラム

研修1日目 ◇ 11月11日金曜日

<オープニング> 10:00

オリエンテーション・参加者自己紹介 上月翔太

2日間の研修に関するオリエンテーションおよび参加者による自己紹介を行います。

10:20

学習支援が求められる背景と意義 清水栄子

大学においてどのような学習支援が必要とされているのか、またなぜ学習支援が求められているのかを理解します。

ランチタイム <11:30-12:30>

各自食事。希望者はzoomの全体会場で食事をしながら交流を深めます。

12:30

面談の指針と方法 中井俊樹

学習に関する課題は個々の学生によって異なることを考えると、個々の学生の課題にあった支援ができる面談は、基本的な学習支援の方法といえます。面談の指針、標準的な5段階の方法、場面ごとの工夫や留意点などを身につけます。

13:30

多様な学生への支援 上月翔太

多様な学生の支援は学習支援の重要な役割の1つです。学生の多様性には障害の有無や国籍の違い以外にも様々な観点があり、学習支援に携わる教職員には一定の知見が求められます。ここでは学習支援において、学生の多様性をどのように理解すべきか、支援の実施において何に留意すべきかを学びます。

14:30

学生相互による支援 竹中喜一

学生相互による学習支援には、学習支援を受ける学生と学習支援を行う学生の双方に利点があります。一方で、学生相互による学習支援をうまく機能させるためには留意すべき点もあります。ここでは、学生相互による支援の意義と方法について学びます。

15:30

学習支援者の倫理 上月翔太

学習支援の実践において倫理に配慮することは不可欠です。倫理を軽視することで学生が不利益を被ることも考えられます。ここでは、主要な倫理上の論点、倫理的な問題の発見や解決の方法、組織的に倫理観の向上を図るための方法について学びます。

<全体> 16:30

学習支援の実践上の課題解決 全講師

学習支援を企画・運営するうえでの課題を共有し解決策を考えます。

研修2日目 ◇ 11月12日土曜日

10:00

専門組織の運営 竹中喜一

学生に対して効果的かつ効率的な学習支援を推進するために、学習支援の専門組織はどのように運営されるのがよいのでしょうか。この問いについて、構成員の能力開発、専門組織の広報、専門組織の評価などの観点から考えていきます。構成員個人でできることはもちろん、組織全体ですべきことについても検討します。

11:00

関係機関・関係者との連携 清水栄子

円滑な支援を提供していくためには、関係する他機関や関係者との連携は必須といえるでしょう。ここではさまざまな機関や関係者との連携や協働による学習支援の方法やあり方について学びます。

<個人ワーク/講師とのメンタリング> 12:50

所属大学における学習支援の課題解決案の作成 全講師

所属大学における学習支援の課題解決のアクションプランを作成します。講師とのメンタリングを行い、ブラッシュアップします。

<全体> 15:30

学習支援の課題解決案の共有 上月翔太

作成したアクションプランを参加者と共有し、いつまでにどのような行動を起こすのかを宣言します。

<クロージング> 17:00

よりよい学習支援を展開するために(全体のふりかえり) 清水栄子

2日間の全体のふりかえりと研修のまとめを行います。